

2024年度 年主題「さあ、漕ぎだそう～奏でよう～」

**0・1・2歳児 1月主題 「いっしょにね」**  
 月のねがい  
 ◎神さまに守られている安心感の中で過ごす  
 ◎友だちや保育者と一緒にいることを喜び、関わり合う  
 ◎自分でやってみようとするが増える  
 ◎友だちと真似をし合いながら遊ぶことを楽しむ  
 ◎冬の自然の中で体を動かすことの楽しさや面白さを味わう

**3・4・5歳児 1月主題 「じっくりと/かさねる」**  
 月のねがい  
 ◎クリスマスに与えられた喜びを引き続き感じながら、聖書の物語に親しむ  
 ◎お正月遊び、昔遊びなどに親しみ、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを知る  
 ◎今まで楽しんできたことに新たな経験を重ね遊びを広げる  
 ◎冬の不思議やおもしろさに気付き、友だちと調べたり試したりする  
 ◎寒い季節の自然、氷、霜柱などに触れる中、体を動かすと暖くなることを知る



今月の聖句 「受けるよりは与える方が幸いである」

使徒言行録20:35

ヨルダンとイスラエルの国境にある死海という湖があります。その塩分濃度は約30パーセントで、なんと平均的海水塩分濃度の約10倍です。また、死海は地面より430メートル低いところに水面があります。それは地球上で最も低い海拔です。塩分濃度が高いため、浮力が強く、何もせずともプカプカ浮くことができるので、観光名所となっています。死海はその塩分濃度の高さから、生物がほとんど生息できません。そこから死の海、死海と命名されました。

死海の北側には、聖書の中にもよく出てくるガリラヤ湖があります。ガリラヤ湖と死海は川で結ばれていて、死海側に今もガリラヤ湖の水が流れ込んでいます。けれども、その死海から水が抜け出るルートがありません。年間を通して温暖な気温で乾燥しているため、ガリラヤ湖から大量の水が流れ込んできても、それ以上の水が蒸発するので、塩分濃度は今も上昇を続けています。まさに、生き物が生息出来ない死の海と化しています。これが、水が流れ出るルートがあれば生きた海となることが出来たはずです。水をもらっただけで、その水が抜け出るルートがなければ、それは死んだ水となるか腐った水となってしまいます。入口だけでなく、出口があることが大切なのです。

私たち人間生活にも同じことが言えると思います。私たちは得ることばかり考えがちですが、自分の得たものを与えることで恵まれたり、祝されることを忘れてはなりません。富を沢山持っていることが人の豊かさではなく、分かち合える中にこそ、人の豊かさがあるのです。こども園の中で、子どもたちにもそのような豊かな経験を積んでほしいと願います。

協力牧師 池田基宣

**2・3号認定児 新規入園申込受付期間**  
 1/14 (火) ~ 31 (金)  
 定員に限りがあります。お早めに市福祉事務所へお申込み下さい！必要書類は園にもございます。



1月の行事予定

4日(土)	弁当日
8日(水)	始園式 (1号午前保育)
10日(金)	誕生会 (2才以上12・1月生)
11日(土)	役員会
18日(土)	職員研修・地区研修
23日(木)	おゆうぎ会予行・弁当日

2月の行事予定

1日(土)	おゆうぎ会
3日(月)	振替休日 (1号)
7日(金)	卒園記念写真撮影(年長児)
8日(土)	職員研修
13日(木)	お別れ遠足
15日(土)	めぐみ誕生会・役員会
19日(水)	参観日(5才児クラス)
20日(木)	参観日(4才児クラス)
21日(金)	参観日(3才児クラス)
22日(土)	2才児参観進級準備説明会

あけましておめでとうございます

年々年始を怪我や事故なくすごされたでしょうか？新年を迎え、心機一転新たな目標に向けてスタートされたことと思います。今年は「巳年」です。へびは脱皮を繰り返して成長していくことから、復活と再生のシンボルとして縁起が良い動物とされています。「産まれる」や「将来がある」「努力が実る」などの意味合いもあるようです。新しい目標を決め、チャレンジを重ねる1年を目指します。こども園では、年始から元気いっぱい子どもたちの声が響き渡っています。久しぶりに会った友だちと、「明けましておめでとう〜！」「久しぶりだったね」などと再会を喜んでいる姿がありました。友だちと追いかけてっこやまごをたして、笑顔いっぱいの姿を見ると、3学期も子どもたちがワクワク、ドキドキできる環境をたくさん作ってほしいと思います。

3学期は、おゆうぎ会が待っています！各クラスで、子どもたちの興味ある題材から曲を決め、準備を進めています。子どもたちが夢中になって稽古に取り組めるように工夫していきたいと思ひます。

また、3学期は次のステップに向けて重要な時期となります。くじらグループの子どもたちは、いよいよ1年生に向かいます。それぞれ新しい環境へ不安と期待があるでしょう。みんなで、きりすこども園での思い出をたくさん作っていきましょう。他のクラスの友だちも1つずつ進級に向かって、新しい環境が待っています。いっぱい友だちと遊ぶ中で、ケンカと仲直りを繰り返しながら成長していくことですよ！職員も子どもたちと向き合う中で、笑ったり悔しがったりしながら、共に成長していけるよう保育に取り組んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

インフルエンザ等の感染症もピークを迎える時期となります。感染予防をしっかりとしながら、園庭やわかさ公園で体をたくさん動かして、元気な体作りをしていきたいと思ひます。保護者の皆様もお体には十分お気を付けてお過ごしください。主任：江口



初心忘るべからず

新年明けましておめでとうございませう。皆様ご健勝の内に、二〇二五年(令和七年)をお迎えになられたこと存じます。本年も、皆様にとって希望に満ちた素晴らしい年でありませう。心から能登半島地震という最悪のスタートでした。被災地は、未だライフラインの復旧も途上で、復興にはほど遠い現実が覆っているようです。また、ウクライナやパレスチナの戦争も、一日も早く落ち着いて欲しいと願うばかりです。多くの損害や痛み・不安が未だ癒えない方たちのことも覚え、日々祈り続けたいと思ひます。

さて、年の初めの訓示などに使われる言葉と言え、「初心忘るべからず」が定番です。一般的に「初心」は、最初に思い立ったときの純粋な気持ちや志を意味します。つまり、新しいことを始めたときの意気込みや熱意・謙虚さを忘れないようにすることとして理解されています。仕事や習練などに慣れてきた頃、気の緩みに活を入れる意味で使われていることが多いのではないのでしょうか。しかし、本来の「初心」にはもう少し深い意味があるように思ひます。「初心忘るべからず」と最初に語ったのは室町時代の能楽師の大家である世阿弥です。能の指導書「花鏡」にある三つの内の一つ、「是非初心を忘るべからず」は、まだ未熟だった頃の芸を忘れず、成長した今の実力を正しく認識し向上させることが大切だということ。二つ目の「時々の初心を忘るべからず」は、どの年齢であっても新しいことを始めるときは初心者であり、未熟であること

を忘れてはいけないとあります。つまり、いくつになっても自分にはまだ学べるべきことがあると受け入れることが大切だということ。最後の「老後の初心を忘るべからず」は、老後であっても新しいことを学ぶ意欲を持つことが大切だと語っています。年を取ったから完成ということではなく、一生涯をかけて学び続けることが大切だということの意味です。この考え方は、謙虚さを忘れないこと以上に、積極的な自己成長と学びの姿勢を付け加えているように思ひます。いつまでも「初心者」のような気持ちで学び、吸収することができれば、「自分」が欠点ばかりの弱い人間だと、素直に認められる時にこそ、その人は安全である。とマザーテレサは言っています。自分の運転技術の未熟さを自覚している人は、自ずと慎重な運転を心掛けるので、事故を起こす可能性は低くはならず、運転に限らず、トラブルを起こしやすくないのは、自分の能力や知識を過信している場合が多いためと知れませう。欠点や弱さを認めて生きる人は、未熟であったことを忘れず、一つ一つ乗り越える力を得ていくのではないかと思ひます。私たちは弱いときにこそ強いのです。人間の成長とは、何か新しい技術や考えを自分に付け足していく作業ではなく、すでに自分の内にあるものを洗練し、磨き上げていくことなのかもしれませう。神様はすべての子どもたちに、その子だけの賜物を下さっています。それは強さや優つたものではなく、弱さや苦手なものを見ているかもしれないかもしれませんが、それが成長の源泉となつてくれることを信じて、ともに歩んでまいりませう。

三学期は、年長児にとつても園生活最後の学期です。幼児教育の仕上げの時でもあります。それぞれの子どもたちにとって、思い出深い魅力あふれる日々になるよう努めてまいります。本年も宜しくお願ひいたします。

ランドセルを買ってもらったよ！！

「ランドセルを買ってもらったよ〜！」と年長児たちの嬉しそうな声が聞こえてくる時期となりました。子どもたちが喜んでその時を迎えることができるように、入学前に身に付けたい大切な生活習慣としていくつかあげてみました。幼児期の生活を考える上でも大切なことですので、皆さんと共有したいと思います。

《小学校入学前に身に付けたい大切な7つの生活習慣》

- ①交通ルールを守り通学路を歩く  
自宅から学校までのルートを親子で何回か歩き、危険な箇所がないか確認しておきましょう。
- ②とっさの緊急対応ができる  
最近では防犯ブザーをランドセル等に付け緊急時に使えるようになっているようですが、ひもを引いてブザーを鳴らせること、緊急時に親の緊急連絡先を言えるようにしておく等の練習をしておきましょう。
- ③和式トイレを使う  
一人でトイレに行き手を洗うまで出来るようになります。家庭では洋式トイレが一般的になってきてますが小学校では約8割が和式トイレのようです。和式トイレで実践練習をしておきましょう。

- ④着替えをスムーズにおこなう  
体育の授業の前に体操服に着替えたり、脱いだ服をたたんで片付けたりが一人で出来るようにしましょう。
- ⑤あいさつや返事が自然に出来る  
小学校に入学して友人関係を円滑にしていけるためにも大切になってきます。
- ⑥人の話を落ち着いて聞く  
先生の指示や授業を聴けるように、人の話を落ち着いて聴く習慣も付けておきたいものです。友だち同士でも、自分ばかりが一方的に話すのではなく、相手の話もきちんと聞き、その上で自分の考えを主張することで、友人関係は良好に築かれていくものです。
- ⑦適切な我慢をすることが出来る  
小学生になると、自分で判断し、行動しなければならないことが増えます。その中で校則や社会のルールを守っていかねばなりません。それらは必ず我慢する力が必要になってきます。順番を待つことや、授業中は着席して先生の話を聴く、宿題はちゃんと提出するなど、何らかの我慢を要してきます。我慢ばかりは意欲の低下に繋がりますので、自己主張と自己抑制のバランスを考えながら我慢する力を身に付けていくことが大切で、園長